

商工会法施行 50 周年記念「商工会しまね県大会」

平成 22 年 10 月 15 日(金)

商工会法施行 50 周年記念「商工会しまね県大会」が盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

商工会法が昭和 35 年に制定されてから半世紀、この間、日本経済は高度成長、石油危機、バブルの発生と崩壊、円高・デフレ、中国などの追い上げなど、大きな変動を受けてきました。中小企業もその中で大きな変動に直面してきました。

これを克服する過程で、商工会は、地域商工業の振興や小規模事業者の育成などに大きな役割を果たし、我が国の発展に大きく寄与してこられました。

島根の商工会は、この商工会法の下で、初代会長の林栄三さんから、土田好治さん、森崎禎璋さん、そして現会長の石飛善和さんをはじめ、役職員や会員の皆様のご尽力により、地域社会の発展に大きく貢献をいただき、深く敬意を表する次第であります。

県も商工会と一緒にありまして、中小企業の発展を支援してまいりましたが、今後も皆様には、高度化、多様化する中小企業のニーズに的確に対応し、地域産業の振興と育成に取り組んでいただきますようご期待申し上げます。

そして、商工会の青年部、女性部の方々には、町おこしや地域の伝統文化の継承など幅広い分野で、先頭にたって地域の結束、団結に大きな役割を演じておられます。今後とも一層のご活躍をご期待申し上げる次第であります。

さて、現下の日本の経済情勢を見ますと、欧米経済の減速や円高の進行など先行きに大きな懸念があります。そして、県内の経済も厳しい状況にあります。

こうした中、国では、この 9 月に予備費により約 1 兆円規模の経済対策を打ち、さらに、今月下旬からは、国会で、約 5 兆円規模の補正予算についての審議が始まるところであります。

県でも、今般の 9 月定例議会に、総額 40 億円の追加補正予算を組み、本日議決をいただきましたが、今後も、国の対策や県経済の動向などをよく踏まえて、中小企業対策、雇用政策などを含め、迅速かつ適切な対策を取って万全を期していく考えでありますので、よろしくごお願い申し上げます。

終わりに、商工会の皆様のご健勝とご発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。